

# 「水と空気以外は接着可能に」 超音波溶着で加工分野拡大へ

納期相談  
企画力自信有  
試作可小ロット  
量産対応



平成24年に稼働した枚方工場

**業務内容**  
プラスチック接合で  
さまざまな加工を提供

「タラタ」では、超音波振動と加圧力により熱可塑性樹脂を瞬時に溶融させて接合する超音波溶着技術で顧客の要望に応えている。複雑な形状のプラスチック部品を強固に接着でき、接着剤やねじでの結合と比べてもきれいな仕上がりが特徴。廃棄時のリサイクル処理も簡単なことから、自動車や家電、医療繊維など幅広い分野で活用が広がっている。同社ではこの技術を用いて住宅設備や医療機器、浄水器、照明器具などの部品加工を請け負う。大手メーカーが専用機で超音波溶着機を導入するケースは多いが、同社のように汎用性を重視して20台近い溶着機でさまざまな加工を引き受ける専門業者は少ないという。それゆえ、顧客からの信頼も厚い。

**強み**  
振動伝えるホーンの数に  
海外メーカーも驚きの声

超音波溶着機が国内に導入されたのは約30年前。宇野明彦社長は早い時期からこの技術に着目し、技術や性能面で優れる海外メーカーから機械を取り寄せて試行錯誤を続けてきた。超音波振動は、ホーンと呼ばれる金属製の共振体により加圧とともに樹脂に伝えられる。品質の高い加工を実現するためには、ホーンの改良や工夫が重要だという。海外の溶着機メーカーのスタッフが来社した際、数多くのホーンが並ぶ様子に「博物館を見ているようだ」と驚いたというエピソードからは、宇野社長のものづくりに対するこだわりやノウハウの蓄積、技術力の高さがうかがえる。

**工法開発**  
前を向いて走り続け  
オンリーワン技術を磨く

同社では、超音波溶着技術の普及を目的に

顧客の開発部門へ向けて随時、技術説明会や工場見学会を開くほか、溶着機導入後に期待通りの仕上がりが品質に到達できない企業に向けた技術支援も行っている。顧客の要望に合わせて金属と樹脂の結合や、樹脂を金属の隙間に流し込んで固定する方法、不織布やマスキングを溶着後すぐにカットする複合的な設備も独自に開発してきた。

また、超音波加工以外にも検査治具の提案や製作により検査を簡素化し、顧客からも高い評価を得ている。宇野社長は「オンリーワン技術を開発しなければ、顧客はすぐに離れてしまう。常に前を向いて走り続けたい」と、自らを鼓舞する。

**今後の展望**  
研究開発拠点を開設  
独自技術で可能性探る

あらゆる分野へのプラスチック普及にとどまない、超音波によるプラスチック溶着の応用分野は拡大し、品質への要求も複雑化・高度化している。こうした厳しい要求に応えるため、平成30年7月には研究開発拠点を大阪府大東市に開設。技術説明会や見学会で得られた顧客からの評価を参考に、独自技術を磨いていく。宇野社長は「究極の目標だが、水と空気以外は何でもくっつけると言えるようになりたい」と語る。超音波溶着技術の可能性を探り、広げていく試みは始まったばかりだ。



超音波プラスチック溶着機



工場に並べられているホーン

## 当社の歴史



平成12年に大阪府門真市で創業し、その後は3拠点あった工場を集約して同枚方市に移転しました。工場にはクリーンルームを整備し、浄水器や医療機器関連部品の加工にも力を入れています。「進化前進」をモットーに、全社一丸となって超音波溶着技術をさらに極めて、新たな歴史の構築を目指します。

代表取締役 **宇野 明彦**さん

<http://tarata.co.jp/>

### 主な事業内容

超音波溶着加工技術を利用したプラスチック加工

### 主な取引先(納入先)

化学メーカー、家電メーカー、住宅設備メーカー、ポンプメーカー

- 住所 〒573-0004 枚方市中宮 大池2-45-1
- TEL 072-898-3030
- FAX 072-898-3031
- 創業 平成12年6月
- 設立 平成12年6月
- 資本金 300万円
- 従業員 18名

大阪 30